



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 伯東株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7433 URL https://www.hakuto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 良二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-3412
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	35,719	0.2	1,236	64.8	1,148	61.0	736	49.5
2020年3月期第1四半期	35,657	5.6	750	△32.6	713	△40.1	492	△41.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,851百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △84百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	35.83	—
2020年3月期第1四半期	23.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	115,159	55,452	48.2	2,697.85
2020年3月期	112,135	54,011	48.2	2,627.76

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 55,452百万円 2020年3月期 54,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	20.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	70,000	△3.1	1,500	△12.2	1,400	△11.1	900	△18.6	43.79
通期	144,000	△6.0	2,700	11.8	2,500	16.8	1,700	18.1	82.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	24,137,213株	2020年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,583,031株	2020年3月期	3,583,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	20,554,122株	2020年3月期1Q	20,554,252株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、年明け以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け急速かつ大幅に悪化いたしました。感染拡大防止への取り組みから社会経済活動は停滞し、各国とも感染拡大防止と社会経済活動の両立を試みているものの、今なお感染は拡大を続けており、世界経済の回復は不透明な状況が続いております。また昨年来からの米中貿易摩擦の激化による世界経済への影響も懸念されております。

我が国経済においても新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令等により、社会経済活動が大きく制限されたことにより、企業における設備投資の抑制や個人消費の減少により景気は後退しております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、引き続き5G設備に関連する通信機器分野は堅調に推移しました。また新型コロナウイルス感染拡大に伴いリモートワークや教育関連におけるPC及び周辺機器等の需要増加がみられましたが、自動車産業における減産の影響は大きく、また産業機器、民生分野でも世界的な景気後退による影響を受けております。

このような状況のもと、当社グループの電子部品事業においては、通信関連部品が堅調を維持し、PC・タブレット及び周辺機器の需要拡大や前期に獲得した自動車関連部品の新規商流により増収となりました。

電子・電気機器事業については光関連機器の伸長が伸びましたが、化合物半導体製造装置関連における商権の消失による影響から対前年同期比で減収となりました。

工業薬品事業については新型コロナウイルス感染拡大による駆け込み需要もありましたが、紙・パルプ分野は厳しい状況が続いており、前年同四半期より減収となりました。

このような環境下において、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は357億19百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

損益面につきましては、当第1四半期連結累計期間の連結売上総利益は46億47百万円（同5.2%増）となり、連結販売費及び一般管理費として34億11百万円（同6.9%減）を計上した結果、連結営業利益は12億36百万円（同64.8%増）、連結経常利益は11億48百万円（同61.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億36百万円（同49.5%増）となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品分野では、新型コロナウイルス感染防止対策によるリモートワークや在宅学習などの増加に伴うインフラ整備からPC・タブレット及びその周辺機器向け電子部品が伸長しました。また、前期より好調が続く通信関連電子部品の販売も堅調に推移しましたが、自動車関連部品については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う各社の減産による影響を大きく受けております。当社においては、前年度下期より本格的に取引開始となった車載向け新規商流があり、前年同期比増加となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は288億84百万円（前年同期比3.0%増）となり、さらに中国子会社と国内子会社にて前第1四半期連結累計期間では落ち込んでいた利益率が回復したこと等によりセグメント利益は3億98百万円（同48.0%増）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では、化合物半導体製造装置の一部商権消失の影響により売上高は前年同期比で減少しましたが、前年度から延伸してきたプリント基板製造装置の売上計上に加えて、5Gや海底ケーブル等の通信インフラ関連は好調に推移し、真空関連機器も堅調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は40億18百万円（前年同期比14.4%減）となりましたが、前述の商品群の販売等による収益性の改善により、セグメント利益は5億60百万円（同161.1%増）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品分野では、石油化学での新型コロナウイルス感染拡大による前倒し受注もあり、重合禁止剤等の販売が堅調に推移しましたが、依然として紙・パルプ分野の抄紙需要は減少傾向にあり、製紙用薬品の販売は減少しております。また自動車関連のペイント処理剤の落込みもあり売上は伸び悩みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は28億7百万円（前年同期比3.7%減）となりましたが、利益率の高い化粧品基剤の売上が伸長したことに加え、出張旅費等の経費の減少もありセグメント利益は2億49百万円（同8.5%増）となりました。

[その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第1四半期連結累計期間の売上高は1億88百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は13百万円（同73.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して16億89百万円（1.7%）増加して988億35百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が58億16百万円減少しましたが、現金及び預金が7億59百万円、商品及び製品が70億10百万円増加したためであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して13億34百万円（8.9%）増加し、163億23百万円となりました。これは主に保有株式の株価の上昇により、投資有価証券が14億94百万円増加したためであります。

以上のことから、当連結会計年度末における資産の部全体としては、前連結会計年度末と比較して30億23百万円（2.7%）増加し、1,151億59百万円となりました。

負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末と比較して3億56百万円（0.8%）減少して437億28百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が14億75百万円増加しましたが、短期借入金が15億75百万円減少したためであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して19億39百万円（13.8%）増加して159億79百万円となりました。これは主に長期借入金が15億30百万円増加したためであります。

以上のことから、当連結会計年度末における負債の部全体としては、前連結会計年度末と比較して15億82百万円（2.7%）増加し、597億7百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して14億40百万円（2.7%）増加し、554億52百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が10億25百万円、利益剰余金が3億25百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは12億51百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは92百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは4億36百万円の支出となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して7億59百万円増加し、当第1四半期末は154億96百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

車載向け電子部品事業の拡大に伴い、BCP（事業継続計画）の一環として当社グループが保有するたな卸資産は年々増加傾向にあります。当第1四半期連結累計期間においては、たな卸資産の増加額71億10百万円等の支出要因がありましたが、売上債権の減少額64億7百万円、仕入債務の増加額13億40百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは12億51百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には仕入債務の増加額等により4億41百万円の収入となっておりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動として、主に新規事業に係る投資や工業薬品事業における製造及び研究設備の更新等の資本的支出を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、有形固定資産の取得による支出83百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは92百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には有形固定資産の取得による支出等により、76百万円の支出となっておりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

事業拡大に伴う資金需要の増加に対して、主に有利子負債による調達を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、長期借入による収入30億円等の収入要因がありましたが、短期借入金の返済による支出（純）21億円、長期借入金の返済による支出9億45百万円等の支出要因により、財務活動によるキャッシュ・フローは4億36百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には、長期借入による収入等により、9億6百万円の収入となっておりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による業績に与える影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、各国において社会経済活動の制限が緩和されつつあることを踏まえ、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、当社グループ各社の影響及び今後の予測を集約し公表することといたしました。

詳細につきましては、本日(2020年7月31日)公表いたしました「2021年3月期通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,736	15,496
受取手形及び売掛金	35,590	29,773
電子記録債権	6,435	5,870
商品及び製品	35,786	42,797
仕掛品	45	47
原材料及び貯蔵品	578	711
その他	4,025	4,190
貸倒引当金	△52	△52
流動資産合計	97,146	98,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	957	938
機械及び装置（純額）	1,879	1,820
土地	3,069	3,069
その他（純額）	996	942
有形固定資産合計	6,903	6,771
無形固定資産		
	333	315
投資その他の資産		
投資有価証券	7,188	8,683
繰延税金資産	206	219
その他	389	365
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	7,752	9,236
固定資産合計	14,989	16,323
資産合計	112,135	115,159

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,641	17,117
電子記録債務	2,878	2,751
短期借入金	20,919	19,344
リース債務	231	229
未払法人税等	458	522
賞与引当金	1,068	599
製品保証引当金	6	6
その他	2,880	3,157
流動負債合計	44,085	43,728
固定負債		
長期借入金	12,320	13,850
リース債務	214	180
繰延税金負債	1,085	1,551
役員退職慰労引当金	12	13
退職給付に係る負債	390	367
その他	16	16
固定負債合計	14,039	15,979
負債合計	58,124	59,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,289
利益剰余金	40,667	40,992
自己株式	△5,877	△5,877
株主資本合計	50,179	50,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,502	4,527
繰延ヘッジ損益	△6	1
為替換算調整勘定	623	692
退職給付に係る調整累計額	△287	△274
その他の包括利益累計額合計	3,831	4,947
純資産合計	54,011	55,452
負債純資産合計	112,135	115,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	35,657	35,719
売上原価	31,241	31,072
売上総利益	4,416	4,647
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,161	1,185
賞与引当金繰入額	385	403
退職給付費用	110	104
その他	2,009	1,717
販売費及び一般管理費合計	3,665	3,411
営業利益	750	1,236
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	108	65
持分法による投資利益	5	—
その他	36	23
営業外収益合計	152	93
営業外費用		
支払利息	11	40
売上債権売却損	26	12
為替差損	145	122
持分法による投資損失	—	3
その他	5	1
営業外費用合計	189	180
経常利益	713	1,148
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	713	1,148
法人税等	220	412
四半期純利益	492	736
親会社株主に帰属する四半期純利益	492	736

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	492	736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△268	1,025
繰延ヘッジ損益	△16	8
為替換算調整勘定	△303	69
退職給付に係る調整額	11	13
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△577	1,115
四半期包括利益	△84	1,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84	1,851

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	713	1,148
減価償却費	197	198
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△497	△469
受取利息及び受取配当金	△111	△69
支払利息	11	40
持分法による投資損益 (△は益)	△5	3
固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7	△16
売上債権の増減額 (△は増加)	△400	6,407
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△851	△7,110
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,511	1,340
その他	550	77
小計	1,111	1,551
利息及び配当金の受取額	123	82
利息の支払額	△11	△43
法人税等の支払額	△782	△338
営業活動によるキャッシュ・フロー	441	1,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△54	△83
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△12	△22
投資有価証券の取得による支出	—	△4
その他	△9	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	29,000	48,200
短期借入金の返済による支出	△31,300	△50,300
リース債務の返済による支出	△33	△4
長期借入れによる収入	4,000	3,000
長期借入金の返済による支出	△175	△945
自己株式の増減額 (△は増加)	—	0
配当金の支払額	△584	△387
財務活動によるキャッシュ・フロー	906	△436
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,207	759
現金及び現金同等物の期首残高	7,608	14,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,816	15,496

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	28,043	4,692	2,915	176	35,828
セグメント利益	269	214	229	7	721

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	28,884	4,018	2,807	188	35,899
セグメント利益	398	560	249	13	1,221

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	35,828	35,899
セグメント間取引消去	△170	△179
四半期連結財務諸表の売上高	35,657	35,719

(単位：百万円)

利益	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	721	1,221
のれんの償却額	△2	△2
その他の調整額	32	18
四半期連結財務諸表の営業利益	750	1,236

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。